

質問書に対する回答9

件名) 首都圏中央連絡自動車道 神崎大栄舗装工事

番号	質問箇所	質問事項	回答
1	特記仕様書P21 17-1 支給材料	<p>特記仕様書P21 17-1 支給材料において、用排水溝PuL・0.30・0.30が103m分、防護柵4mビーム（A種）が167m分、引渡し場所：つくばJCT資材置場と記載があり、これらの支給材料を使用する場所は、神崎 IC～下総 IC間となっております。</p> <p>この運搬ルートについては、質問書に対する回答2 番号5で、①つくばJCT→つくば牛久IC→神崎IC→11→21→14→15→下総IC ②つくばJCT→つくば牛久IC→下総IC→16→32→34→38、質問書に対する回答2 番号6で、③つくばJCT→つくば牛久IC→下総IC→7→8→10という回答をいただいております。</p> <p>①②③の使い分けをご教示願います。</p> <p>また、③については工事用道路Fを使用するルートとなり、支給材料を使用する箇所（神崎 IC～下総 IC間）には該当しませんが、このルートに使用意図をご教示願います。</p>	<p>令和6年7月30日付け質問書に対する回答2 番号5, 6の回答に誤りがありました。</p> <p>番号5 図面のルート No. 14、No. 15及びNo. 21については、神崎IC～下総ICの土工での使用を想定しています。 (実穀ストックヤード → 牛久阿見IC～下総IC → 15 → 14 → 21 → 11 → 神崎IC～牛久阿見IC → 実穀ストックヤード)</p> <p>図面のルート No. 16、No. 32については、つくばJCTからの支給材運搬ルートでの使用を想定しています。 (つくばJCT→つくば牛久IC→下総IC→16→32→34→38)</p> <p>番号6 図面のルート No. 1、No. 2、No. 3、No. 4、No. 7、No. 8、No. 10は下総IC～大栄JCTの土工での使用を想定しています。 (実穀ストックヤード → 牛久阿見IC～下総IC → 3 → 4 → 7 → 8 → 10 → 工事用道路F出入口 → 10 → 8 → 7 → 1 → 2 → 神崎IC～牛久阿見IC → 実穀ストックヤード)</p>
2	特記仕様書P36 27-2 作業時間帯による単価表の表記区分	<p>特記仕様書P36 27-2 作業時間帯による単価表の表記区分について、金抜き設計書に「(昼夜) 神崎IC終日施工部」と記載されている工種の歩掛りは、図面(15/20) P198/202の「神崎IC・PA 昼夜施工工程表(参考)」に記載されている当該工種の施工時間帯で計上されていると考えてよろしいでしょうか。</p> <p>また、昼間と夜間に跨っている工種は、施工時間帯ごとの積上げで計上されていると考えてよろしいでしょうか。</p> <p>異なる場合は、歩掛りの考え方をご教示いただけないでしょうか。</p>	<p>「神崎IC・PA 昼夜施工工程表(参考)」に記載のある施工時間帯に応じた費用の計上を想定しています。昼間と夜間に跨っている工種については、施工時間帯に応じて2方施工及び必要な補正を考慮した上での費用の計上を想定しています。</p>
3	金抜設計書 番号77切削オーバーレイ工A1 金抜設計書 番号78切削オーバーレイ工A2 金抜設計書 番号186路面切削工A 金抜設計書 番号187路面切削工A(夜) 金抜設計書 番号188路面切削工B 金抜設計書 番号189路面切削工B(夜)	<p>左記の質問箇所の工種について、特記仕様書P30 21-3 (1) に記載のある切削廃材の数量に対する運搬処分費が、各工種の単価項目に含まれていると考えてよろしいでしょうか。</p> <p>その際の、①アスファルト・コンクリート塊（高機能I型混じり）は切削オーバーレイ工 切削オーバーレイ工A1 (t=4cm)、②アスファルト・コンクリート塊（上記以外）はそれ以外の切削廃材量を想定しております</p> <p>また、番号77. 78. 186. 188 については、昼間施工です。なお、作業時間帯による単価表の表記区分については特記仕様書27-2に示すとおりです。</p>	<p>そのとおりお考えください。</p> <p>①アスファルト・コンクリート塊（高機能I型混じり）は切削オーバーレイ工 切削オーバーレイ工A1 (t=4cm)、②アスファルト・コンクリート塊（上記以外）はそれ以外の切削廃材量を想定しております</p> <p>また、番号77. 78. 186. 188 については、昼間施工です。なお、作業時間帯による単価表の表記区分については特記仕様書27-2に示すとおりです。</p>